

西尾市公共施設白書

(令和元年度版)

令和 2 (2020) 年 3 月

西 尾 市

はじめに

西尾市では、公共施設を次世代に適切に引き継ぐため、平成24年3月に『西尾市公共施設再配置基本計画』を策定しました。これは、西尾市が、公共施設の新たなマネジメントとして3つの基本理念・基本方針を定め、それに基づいた公共施設再配置[※]を継続的に進めていくことを示したものです。

その中で、西尾市は、施設を経営資源として運用するファシリティマネジメントと呼ばれる民間の経営管理手法の視点から効率的・効果的な公共施設の再配置を実現するためには、公共施設の現状データを「見える化」することが必要であるとしています。この公共施設白書は、まさにその「見える化」の原点である施設の現状データを体系的に網羅したものであり、公共施設の評価、分析には欠かせない基礎資料です。

令和元年度版の公共施設白書は次の2つのパートで構成されています。

第1は、公共施設白書で取り上げる施設の増減等について報告します。

第2は、公共施設白書の中心である施設別の現状データです。

これまでの公共施設白書と比べて専門的な内容を減らすことで、よりコンパクトで見やすい構成を目指しました。

この公共施設白書が、市民の皆さんにとりまして、公共施設再配置について関心を高めていただく契機となることを期待します。

令和2年3月

※**公共施設再配置**…公共ファシリティマネジメントという経営管理活動の考え方を踏まえて、公共施設の現状について調査・分析した上で、将来を見通した最適な施設配置及び効率的・効果的な維持管理を実現していくこと（公共施設再配置基本計画 第4章 P59～60参照）を意味します。

はじめに

1 公共施設白書対象施設の変更点・・・・・・・・ 1

～西尾市公共施設白書（平成25年度版）と比較して～

2 公共施設再配置対象施設データ・・・・・・・・ 4

～276施設の現状データ（令和元年度版）を公開～

○ 公共施設白書（令和元年度版）施設データ別索引

1

公共施設再配置対象施設の変更点

～西尾市公共施設白書（平成25年度版）と比較して～

■公共施設白書の対象施設

公共施設白書の対象施設は、一般的に「ハコモノ」と呼ばれる建物が対象で、公共施設再配置基本計画書8ページで示している再配置対象の公共施設のことです。

しかし、従来の公共施設白書に含めていた施設のうち、施設規模が小さい施設、用途が極めて限られている施設を対象外としました。市民の皆さんに身近な施設に絞ることで、必要な情報を入手しやすくしました。

公共施設白書の施設分類は、公共施設再配置基本計画書9ページで示している公共施設の独自の分類に準じています。これは、公共施設再配置における分析の視点から分類しているもので、一般的な公共施設の分類を示すものではありません。

■公共施設白書（令和元年度版） 対象施設数

公共施設白書（平成25年度版）では、対象施設数を353施設としていました。

しかし、一部施設の解体と施設規模が小さい施設、用途が限られている施設を対象外としたことなどにより、公共施設白書（令和元年度版）では、施設数を276施設としました。

■公共施設白書（平成25年度版）からの変更施設

○用途変更施設

- ・吉良歴史民俗資料館と吉良文化広場を塩田体験館に用途変更（平成28年4月）
- ・旧海の歴史館を佐久島ナビステーションに用途変更（平成29年10月）
- ・一色健康センターを子育て・多世代交流プラザに用途変更（平成30年4月）

○地域への地区集会施設の譲与

- ・野々宮コミュニティセンター（平成28年1月）
- ・法光寺町公民館（平成28年1月）
- ・山下会館（平成28年1月）
- ・西小榎町集会場（平成28年1月）
- ・小栗町集会場（平成28年1月）
- ・南奥田町集会場（平成28年1月）
- ・下町多目的集会場（平成28年1月）

- ・ハヶ尻町集会場（平成28年1月）
- ・つくしが丘集会場（平成28年7月）

○解体施設

- ・生田住宅（平成25年11月）
- ・治明住宅（平成25年11月）
- ・遠ノ子住宅（平成26年10月）
- ・一色弓道場（平成27年2月）
- ・分散住宅 5住宅（平成27年3月）
- ・藤江住宅（平成28年2月）
- ・西尾駅西地区再開発連絡所（平成28年12月）
- ・吉良防災倉庫（平成29年5月）
- ・赤羽住宅（平成30年1月）
- ・寺津水防倉庫（平成31年3月）

○売却施設

- ・幡豆シルバーワークプラザ（平成27年4月）

○新築施設

- ・矢田ふれあいセンター（平成25年12月）

○対象外施設

公共施設白書（平成25年度版）で対象としていた施設のうち、規模が小さい施設、用途が限られている施設である以下の57施設を対象外にしました。

- ・西尾市土地区画整理組合連合会館
- ・前野新田倉庫
- ・杉浦氏住宅
- ・旧佐久島観光ホテル
- ・旧上横須賀郵便局
- ・佐久島関係者専用駐車場
- ・佐久島火葬場
- ・市内自転車駐車場（9施設）
- ・市内防災資機材庫（41施設）

公共施設白書 平成25年度版と令和元年度版の比較（対象施設数）

大分類	小分類	H25	R1	増減
庁舎等	本庁舎、支所	11	11	0
	消防庁舎、防災施設	74	31	-43
	その他の施設	17	8	-9
学校教育委施設	小学校・中学校等	37	37	0
	幼稚園	3	3	0
	給食センター	3	3	0
生涯学習施設	社会教育施設	14	15	+1
	文化施設	16	15	-1
	スポーツ・レクリエーション施設	12	11	-1
福祉施設	児童福祉施設	77	78	+1
	子育て支援施設			
	社会福祉施設	27	26	-1
	高齢者福祉施設			
医療保健施設	6	5	-1	
市営住宅	市営住宅	32	26	-6
商工観光施設	商工観光施設	5	6	+1
その他	斎場	2	1	-1
	その他	17	0	-17
合計		353	276	-77

2

公共施設再配置対象施設別データ

～276施設の現状データ（令和元年度版）を公開～

■西尾市の公共施設白書について

西尾市では、公共施設再配置を市民と同じ視線で進めるために、公共施設の現状の姿を知ってもらうことが必要と考え、公共施設の現状データである施設別データを市民の皆さんに公開します。データの基準日は平成31年4月1日で、施設所管課が決算データ等に基づいて作成する施設ごとの現状データを集約したものです。

西尾市が公開する施設別データの特色は次のとおりです。

- ①施設の現状データについて、建物の総合判定などの技術的データと管理運営データなどの経営的データを両面から示しています。
- ②平成24・25年度の2か年で実施した公共施設劣化調査に基づく建物の総合判定について推計も含めて示しています。ただし、劣化調査は棟別で調査しているため、小・中学校のように複数棟を有している施設の場合は主な棟の調査結果です。
- ③施設にかかるコスト（ファシリティコスト）については、施設維持にかかるコストと施設運営（事業）にかかるコストの2つに分けて示しています。ただし、人件費については正規職員の平均給与額を配置職員数に乗じた金額です。
- ④施設の現状を「見える化」するため、「老朽化状況」、「耐震性能」、「バリアフリー」、「㎡あたりの利用者数」、「㎡あたりの施設維持コスト」の5項目について、レーダーチャートによって示しています。また、それらの現状を分析した結果を総合評価として示しています。